

第11回 御前崎市民公開講座

リハビリテーションの はなし

平成24年

9月8日

開演 14:30 開演 17:00

場所 市立御前崎総合病院 2階講堂 (御前崎市池新田2060)

●開会の挨拶

14:30~14:35

御前崎市 石原 茂雄 市長
総合司会 市立御前崎総合病院 病院長 大橋 弘幸 先生

●講演1

14:35~15:05

「生きる喜びを支える —当院リハビリテーションシステムの紹介—」

座長 市立御前崎総合病院 病院長 大橋 弘幸 先生
演者 市立御前崎総合病院 リハビリテーションセンター長 秦野 吉徳 先生

休憩 10分

●特別講演

15:15~16:15

「脳卒中患者の回復期から 維持期にかけてのリハビリテーション」

座長 市立御前崎総合病院 リハビリテーション科 診療部長 向井 正明 先生
演者 浜松医科大学医学部附属病院 リハビリテーション科 病院教授 美津島 隆 先生

●質疑応答

16:15~16:30

司会 市立御前崎総合病院 病院長 大橋 弘幸 先生

●閉会の挨拶

16:30

市立御前崎総合病院 病院長 大橋 弘幸 先生

駐車場に限りがありますので乗り合わせの上お越し下さい。

お問合せ ※事前の申込は不要です。

全席自由 | 入場無料

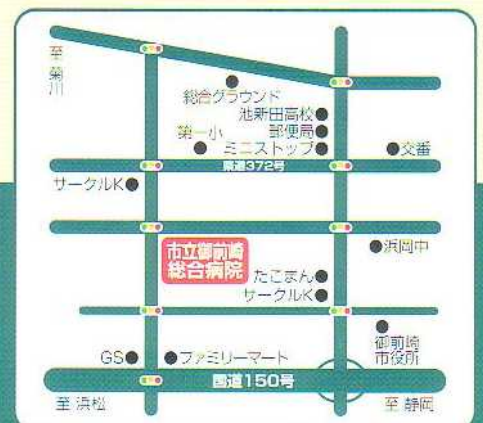
市立御前崎総合病院
ノバルティスファーマ(株)

TEL 0537-86-8511
TEL 053-457-0521

主催：御前崎市・小笠医師会・ノバルティスファーマ(株)

後援：静岡新聞社・静岡放送・中日新聞東海本社・朝日新聞静岡総局

読売新聞静岡支局・毎日新聞浜松支局・郷土新聞社・御前崎ケーブルテレビ (順不同)



第11回 御前崎市民公開講座「リハビリテーションのはなし」

今回の御前崎市民公開講座は、リハビリテーションのはなしを取り上げます。みなさんがリハビリテーションとして馴染みがあるのは、脳卒中や骨折の後に歩行ができなくなった人が、身体の訓練をしてもう一度歩行できるようになるといった事を思い浮かべるとと思います。このようにリハビリテーションは一度失った機能を訓練によって再度獲得するという意味を持っています。いろいろな訓練によって、元の状態にできるだけ戻すといった事です。

最初に医者になって3年目に赴任した共立菊川病院で経験したエピソードによって、私はリハビリは大事だと思いました。その頃は、一般臨床内科として働いていましたが、胃カメラで手術後の胃がんの再発した70歳代の男性の患者さんを見つけました。早速、その頃脂の乗り切った外科医のM先生に、胃全摘術をしていただきました。手術はとてもうまくいったのですが、手術前後で四肢の筋力低下（廃用症候群）が進行し、ベッドに寝たきりとなり、食事を取るときもむせるようになりました（誤嚥）。内科病棟に患者さんを引き取り、肺炎の治療をしながら、飲み込みの練習（嚥下訓練）を開始し、また歩行練習もはじめました。患者さんが内科に来たときには、手術前と大きく変化し認知症が出現進行して、私がお話ししても通じなかったのが驚きました。しかし、リハビリを一生懸命行ってくださり、一ヶ月後には歩行可能になり、食事でもむせないで食べられるようになり、認知症も改善しました。また患者さんは、前のように老紳士然として振る舞うようになりました。歩く事は本当に大事だ！ヒトは直立猿人で、寝たきりになれば知的な機能も廃絶する事を知りました。この頃から、高齢者ほどベッドに寝かせておいてはいけない、病気を新たにつくってしまうと思うようになりました。

さて、長い時間が経過し市立御前崎総合病院に縁あって赴任し、驚いたエピソードは内科病棟に入院してくる患者さんの多くの方が、超高齢者（80歳以上）で寝たきりで重い認知症を患っている事でした。いろいろな施設やご自宅で介助をされていた高齢者が、誤嚥による肺炎や食欲不振、発熱などのために入院してきます。入院したときの主訴（入院のきっかけの症状）が改善しても、食事が飲み込めない、手足の筋力低下のため歩行できない、寝たきりが続いている、認知症のため大声を上げるなどの為に退院できない事がしばしばあります。本院は、回復期リハビリテーション病棟も60床あってリハビリが充実しており、リハビリの先生も多くて熱心に患者さんを見てくださいます。リハビリを行っているスタッフは、患者さんが少しでも回復するように身体機能の改善だけでなく、言葉や食事の飲み込みの訓練、日常生活で困らないようにトイレや風呂などへの入り方の訓練など幅広く熱心にリハビリを行ってくださっています。しかし、寝たきりが長く続き認知症が進行した高齢者は、ほとんど改善しません。やはり、リハビリは寝たきりにならない様に、病気が軽いうちに、またお年を召されたら行くとよいと思います。リハビリは、少しでも健康に近づくための有力な手段です。本院のリハビリテーションがますます盛んになりますように祈念します。

市立御前崎総合病院

病院長 大橋 弘幸